三月十二日会合ニ於テ軸列ニ関スル村豊松ノ仲裁斡旋ノ形式ニ依リ協
議ヲナシ、新ニ会社側ニ於テハ退職手当八十円ヲ支給シタル上、神
戸燐寸工場下北支部長豊田花吉同川路松吉ヨリ斡旋ヘ
軸列工三十四名ノ仲裁者松花会ニ於テ金臣辻井仙太郎ト会シ折衝
シ解雇手当ノ増額ヲ要求シ会社側ノ態度ハ頗ル強硬ナリシモ遂ニ
三十日争議ノ手打ヲ為シタリ
職工側ハ未ダ同盟ノ様ニ解雇手当ノ割増ヲ要求シタルモ之ニ相当
範囲ニ依テ出来得ル丈ケ要求ヲ容レ同業ノ常例ニ従フ
当社ハ之ヲ拒絶シ更ニ之ニ対シ工場主ヨリ再三説諭スル所アリシモ
依然急進派ハ強硬ニシテ応ゼズ三月廿二日双方会見ノ結果
（一）会社側ハ前議ノ方法ヲ備シ円満的解決ヲ期スルコト（二）
職工側ハ右回答ニ近ク平常ノ作業ニ服スルコトノ協定ヲ見タ
ルガ会社ノ要求ハ将来職工側ヲ脱退サセル方針ニシテ（一）将来解

紛セシメタルニ於テ全然白紙
ナルモ但シ最中実現ノ為ノ手段ハ職工ノ会社ニ宣伝
セシメ（二）稼働ハ数少限ニ止メ条件ヲ示シ各自考
究セシメ、一先ヅ帰宅セシメ廿六日ニ於テ協調会ハ会社側ト
会見シ右条件ノ手打ヲ為シ、労働者側ハ酒料慰労ノ主旨
ニテ大体成立ニ於テハ職工ヲ説得シ労働者側ハ争
議ヲ解決シ整理シ記名投票ニ付セシニ三四票對一票
ニテ可決シ、争議ハ全ク解決ヲ見ルニ至レリ。

（日）大阪燐寸製造株式会社下北工場
労働者 男三四名（内女四二名）
参加者 三四名
争議誘因

財團法人協調會

法人協調會